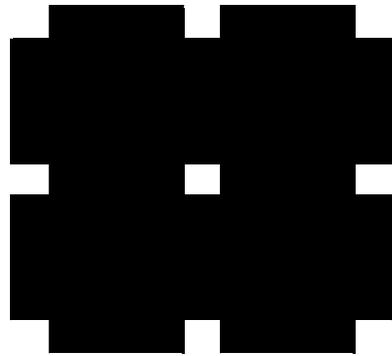


平成 25 年度

事業概要



岐阜市保健所食肉衛生検査所

目 次

第1章	総 説	
1	沿 革	1
2	組織・機構	3
3	職員構成	3
4	所轄と畜場及び食鳥処理場	3
5	と畜場設置許可申請手数料	3
6	検査手数料等	4
7	検査所平面図	4
8	主要検査機器	5
第2章	と畜検査業務	
1	と畜検査頭数	
	(1) 年度別と畜検査頭数	7
	(2) 月別と畜検査頭数	8
	(3) と畜場外と畜頭数	8
	(4) 緊急と畜検査頭数	8
	(5) 牛産地別出荷頭数	8
2	と畜検査結果に基づく措置	
	(1) 獣畜のと畜禁止又は廃棄したものの疾病別内訳	9
	(2) 一部廃棄したものの病類別内訳	10
	(3) 過去10年間の疾病別全部廃棄の推移	12
3	精密検査実施状況	
	(1) 精密検査件数	13
	(2) 残留抗菌性物質検査件数	13
	(3) 抗菌性物質等の残留物質モニタリング調査件数	13
	(4) BSEスクリーニング検査頭数	14
	(5) 枝肉の微生物汚染調査件数	14
	(6) グリア繊維性酸性タンパク (GFAP) 残留量調査件数	14
第3章	食鳥検査業務	
1	検査羽数	
	(1) 月別食鳥検査羽数	15
	(2) 年度別検査羽数推移	15
2	精密検査実施状況	
	(1) 精密検査件数	17
	(2) 残留抗菌性物質検査件数	17
	(3) 抗菌性物質等の残留物質モニタリング検査件数と内訳	17
3	検査廃棄処分したものの内訳	
	(1) 食鳥のとさつ、内臓摘出禁止又は廃棄したものの原因	18
	(2) 月別疾病羽数・処分羽数	19
第4章	その他の事業	
	衛生講習会等の実施状況	20
第5章	調査研究	
1	調査研究発表演題一覧	21
2	平成25年度調査研究 管内食鳥処理場の衛生管理向上への取り組み	22
第6章	付 表	
	食肉市場の概要	25

第1章 総説

1. 沿革

大正12年	3月	岐阜市上加納山にと畜場設置(市営と畜場)
昭和24年	12月	法改正により岐阜市が政令市となる と畜検査業務が、岐阜市保健所所管となる
昭和42年	11月	岐阜市茜部5635の1にと畜場を新築移転 岐阜市食肉センターと改称 岐阜市南保健所衛生課と畜検査係となる
昭和48年	1月	岐阜市食肉地方卸売市場として開設許可を受ける
昭和49年	4月	岐阜市南保健所食肉検査課となる
昭和52年	4月	町名変更により岐阜市境川5-148となる
昭和56年	2月	食肉検査室完成 鉄骨平屋建 68㎡
昭和56年	4月	機構改革により岐阜市中央保健所食肉検査課となる
昭和63年	2月	食肉検査室増改築完成 鉄筋コンクリート二階建一部鉄骨平屋建 308㎡
平成4年	4月	食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律の 施行により食鳥検査業務が食肉検査課所管となる 検査一係 ・ 検査二係となる
平成6年	4月	名称変更により岐阜市中央保健所食肉衛生検査所 となる
平成9年	4月	機構改革により岐阜市保健所食肉衛生検査所となる と畜検査係 ・ 食鳥検査係となる
平成11年	4月	名称変更により、と畜検査係が食肉検査係となる
平成12年	4月	機構改革により岐阜市保健福祉部保健所食肉衛生 検査所となる
平成13年	10月	BSEスクリーニング全頭検査開始
平成14年	4月	BSE専用検査室完成
平成15年	4月	機構改革により岐阜市市民健康部保健所食肉衛生 検査所となる 食肉検査グループ ・ 食鳥検査グループとなる
平成17年	4月	と畜検査手数料を改定
平成20年	4月	機構改革により市民健康部が健康部となる
平成23年	4月	機構改革により食肉検査係・食鳥検査係となる
平成25年	7月	BSEスクリーニング検査が48か月齢超に限定され、 全頭検査が見直しとなる

〒500-8266

岐阜市境川5丁目148番地

電話 (058) 275-1550

FAX (058) 275-1554

アクセス方法

○鉄道利用の場合

1) 駅よりタクシー利用の場合

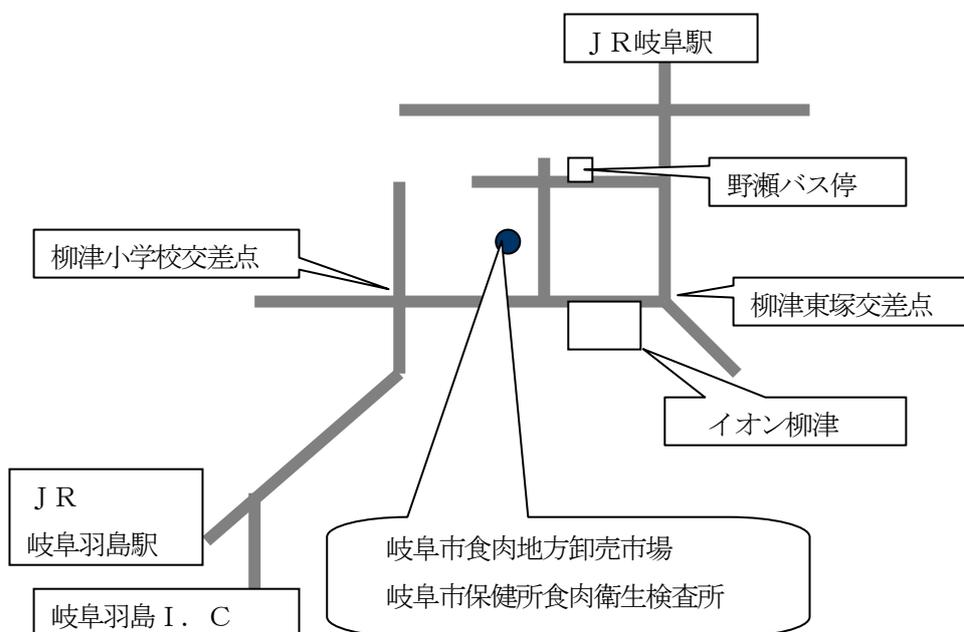
JR岐阜駅、JR新幹線岐阜羽島駅より、「岐阜市食肉地方卸売市場」へ

2) 駅よりバス利用の場合

JR岐阜駅より、岐阜バス三田洞茜部線「高桑行き」に乗車し野瀬バス停下車後
前進し最初の交差点を左折し600m南進

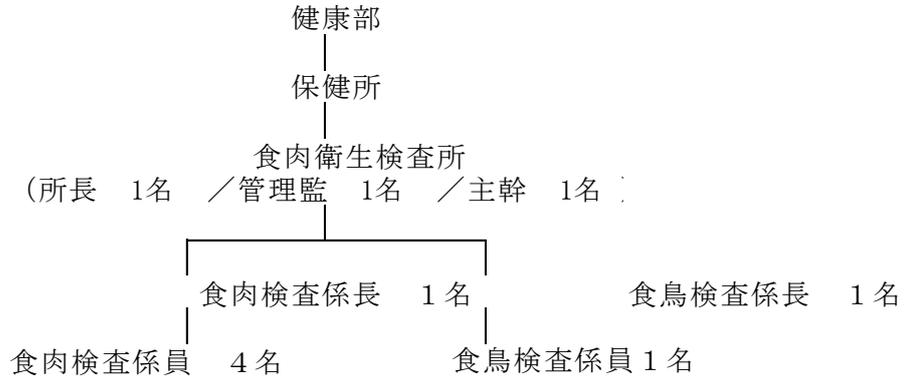
○高速道路利用の場合

名神高速岐阜羽島I.C出口を左折し直進後、県道151号(岐阜羽島線)に右折
直進して県道1号に合流して進み柳津小学校前交差点を右折して、9番目の交差点を
左折し200m直進



2. 組織・機構

平成26年4月1日現在



3. 職員構成

平成26年4月1日現在

職名	人数
所長	1
管理監	1
主幹	1
副主幹	2 (係長 2名)
副主査	1
主任	2
主任技師	2
嘱託職員	3 (食肉検査係 3名)
計	13

4. 所轄と畜場及び食鳥処理場

平成26年4月1日現在

所轄	名称	所在地
と畜場	岐阜市食肉地方卸売市場	岐阜市境川5丁目148
食鳥処理場	株式会社ギフシヨク	岐阜市安食491

5. と畜場設置許可申請手数料

平成26年4月1日現在

区分	金額(円)	最終改正年月日
一般と畜場	22,000	平成12年3月31日
簡易と畜場	10,800	平成12年3月31日

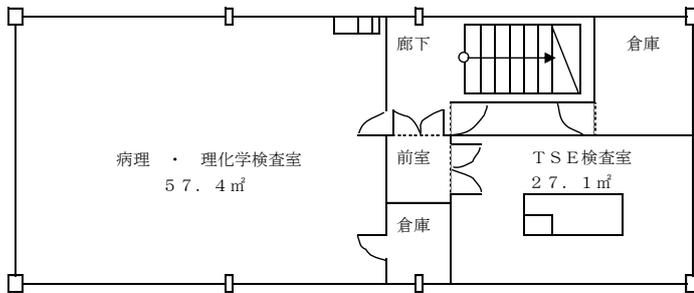
6. 検査手数料等

平成26年4月1日現在

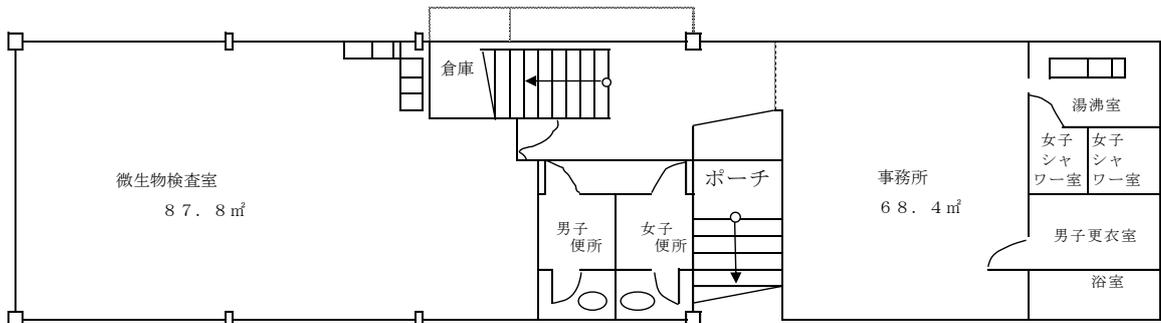
畜種	検査手数料	と畜場使用料	解体料	備考
牛・馬	700	2,520	4,200	
豚	300	840	2,000	枝肉重量100kg以上
	300	840	1,050	
とく	300	840	1,050	
めん羊・山羊	300	840	1,050	
食鳥	3	—	—	

(1頭又は1羽につき 単位：円)

7. 検査所平面図



2階



1階

出入口

8. 主要検査機器

微生物関係

機器名	数量	型 式
デシケーター	2	井内 WVN他
電子上皿天秤	2	メトラー PJ-360 TANITA KD-200
超音波洗浄器	1	ヤマト IC-42
薬用冷蔵庫	5	サンヨー MPR-1011他
ディープフリーザー	1	日本フリーザー VT-208
恒温振盪水槽	1	東洋アドバンテック TS-20S
バイオクリーンベンチ	1	サンヨー MCV-B161F
蛍光顕微鏡	1	オリンパス BHS-RFK-AI型
倒立顕微鏡	1	オリンパス CK2-TR
顕微鏡撮影装置一式	2	オリンパス BH-2 ニコン eclipse 80i、KEYENCE VB-7010
現像焼付装置一式	1	オリンパス
スライド投影器	1	キャビン工業オートキャビン
ストマッカー	1	グンゼマステイクーター 400D
ホモジナイザー	1	日立 HG30
フリーザー	1	サンヨー MDF-235
CO ₂ インキュベーター	1	サンヨー MC0-175
インキュベーター	2	サンヨー MIR-252
	1	ヤマト IC-102
オートクレーブ	1	サンヨー MLS-3000
	1	サンヨー MLS-3750
乾熱滅菌器	2	ADVANTEC FV-830 ヤマト SG-81
恒温乾燥機	1	サンヨー MDV-102
DNA増幅装置	2	宝酒造 TP-3000 Verit™ 200
電気泳動装置一式	1	イワキ ALB-301
電気泳動撮影装置	1	フナコシ FP-6000
トランスイルミネーター	1	フナコシ LM-20-E
微量高速遠心器	1	トミー MX-160
製氷器	1	ホシザキ KM
デシトメーター一式	1	ATTO TYPE-CY
蒸留水製造装置	1	ADVANTEC RFD240NA
超純水製造装置	1	ミリポア SIMSV0000
薬品保管庫	1	セーフティキャビネットSF-5BE

BSE関係

機器名	数量	型 式
電子上皿天秤	1	ザルトリウス 363-65-58-19
細胞・試料破碎装置	1	安井器械 マルチビーズショッカー
	2	フナコシ FastPrep FP120
電動連続分注器	5	エッペンドルフ マルチヘッドプロ、マルチヘッドstream、マルチヘッドプラス×3
恒温水槽	1	アズワン サーマルロボTR-1A
冷却遠心機	2	クボタ 3615、エッペンドルフ Centrifuge 5417R
ボルテックス	2	VORTEX GENIE2 G560
サーモアルミバス（2槽式）	1	IWAKI DOUBLE ALUMI BATH ALB-301
	1	COOL STAT anatech モデル 5520a
マイクロプレートウォッシャー	2	バイオラッド モデル 1575
マイクロプレートリーダー	2	バイオラッド モデル 550、Thermo Multiskan FC Type357
冷凍冷蔵庫	1	SANYO MEDICOOL MPR-414FS
高圧蒸気滅菌器	1	TOMY精工 KS-323
安全キャビネット	1	HITACHI SCV

理化学関係

機器名	数量	型 式
遠心分離機	2	KOKUSAN H-103N
分光光度計	1	島津 UV-120-02
アスピレーター	1	イワキ ASP-13MDA
恒温器	1	ヤマト IC-102
ロータリーエバポレーター	2	東京理化 N-1000型
電気泳動装置	1	アトー科学
高速液体クロマトグラフ	2	島津 LC-10Aシステム
分光蛍光検出器	1	島津 RF-10AXL
フォトダイオード検出器	1	島津 SPD-M10AVP
電子上皿天秤	1	PB303-S 島津AUW220D
超音波洗浄器	1	エルテック UT-30A
ピペット用超音波洗浄器	1	島津 SUS-100PN
薬用保冷庫	3	サンヨー MPR-504他
バイオメディカルフリーザー	1	三洋電気(株) MDF-U338他
赤外線水分計	1	島津 TV-250D
全自動スポットライシステム	2	スポットケムSP-4410 スポットケムSP-4430
pHメーター	1	東亜DKK HM-30G
振とう器	1	ヤマト SA300
蒸留水製造装置	1	アドバンティック RFD230RA

病理関係

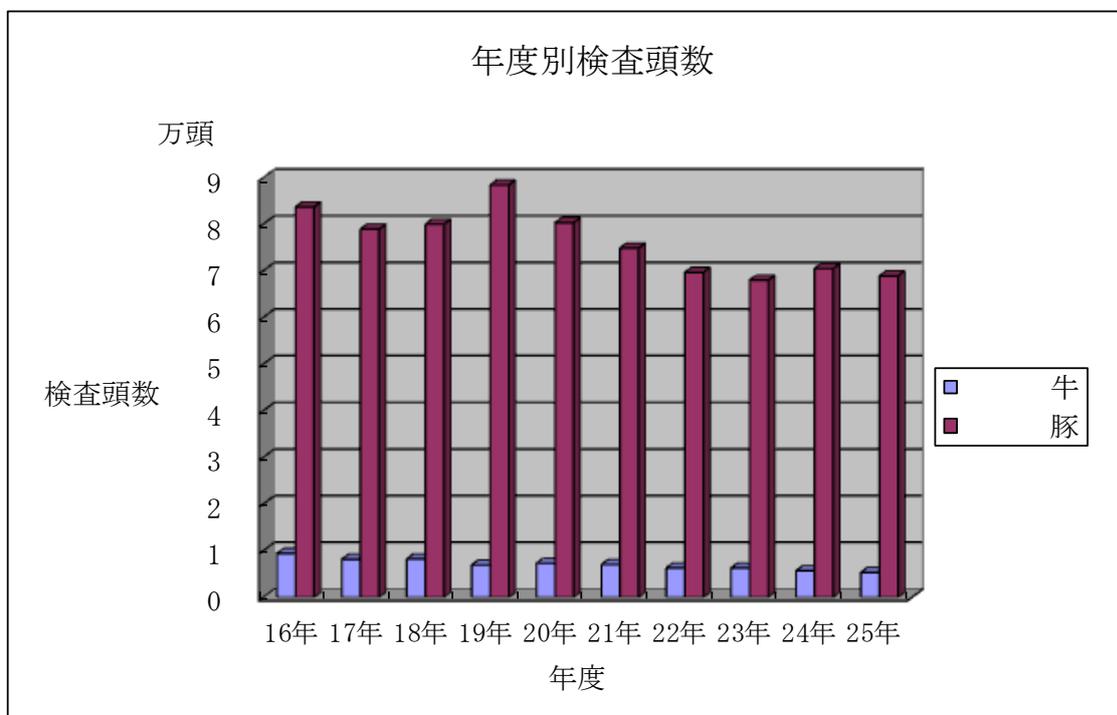
機器名	数量	型 式
マイクローム 一式	1	ヤマト工機 TU-213
クリオスタット	1	白井松 スターレット2122
パラフィン溶融器	1	池本理化 B1
ドラフトチャンバー	1	ヤマト FRS-120型
実体顕微鏡	1	オリンパス SZH10-131
自動包埋器	1	白井松 オーキット1400P
パラフィン伸展器	1	サクラ PS-52
フリーザー	1	三洋 MDF-330
ドライキーパー	1	島津 ED-130

第2章 と畜検査業務

1. と畜検査頭数

(1) 年度別と畜検査頭数

年度 \ 畜種	牛	馬	豚	とく	めん羊 山羊	総数
16年	9,408		83,678	1		93,087
17年	8,158		78,925			87,083
18年	8,231		79,950	1		88,182
19年	6,908		88,368	1		95,277
20年	7,295		80,306			87,601
21年	7,015		74,846	3		81,864
22年	6,290		69,647			75,937
23年	6,306	1	67,975			74,282
24年	5,702		70,467			76,169
25年	5,350		68,880	3		12,233



(2) 月別と畜検査頭数

月	畜種	黒毛和種		交雑種		ホルスタイン種		肉専用種		牛計	とく	馬	豚	めん羊	山羊	総数
		去勢	雌	去勢	雌	去勢	雌	去勢	雌							
4		257	109	7	4	0	0	15	0	392	0	0	5,964	0	0	6,356
5		300	146	10	3	0	0	7	0	466	0	0	5,952	0	0	6,418
6		220	109	10	1	2	0	17	0	359	0	0	5,202	0	0	5,561
7		290	124	6	3	2	0	9	0	434	2	0	5,643	0	0	6,079
8		308	136	4	2	3	0	8	0	461	1	0	5,353	0	0	5,815
9		224	80	3	4	2	0	9	0	322	0	0	5,707	0	0	6,029
10		303	142	2	5	4	0	13	0	469	0	0	6,442	0	0	6,911
11		454	217	5	3	2	1	13	0	695	0	0	5,929	0	0	6,624
12		438	162	9	2	5	0	15	0	631	0	0	5,945	0	0	6,576
1		278	115	3	5	2	0	10	0	413	0	0	5,800	0	0	6,213
2		222	110	3	1	1	0	14	0	351	0	0	5,471	0	0	5,822
3		227	116	6	0	4	0	4	0	357	0	0	5,472	0	0	5,829
総数		3,521	1,566	68	33	27	1	134	0	5,350	3	0	68,880	0	0	74,233

(3) と畜場外と殺頭数

切迫と殺	畜種	牛	とく	馬	豚	合計
不慮の災害で救うことのできない状態	0	0	0	0	0	
難産	0	0	0	0	0	
産褥麻痺	0	0	0	0	0	
急性鼓脹症	0	0	0	0	0	

(4) 緊急と畜検査頭数

畜種	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
		牛	3	2	1	2	2	2	2	2	3	2	1	2
豚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

(5) 牛産地別出荷頭数

出荷県	黒毛和種			交雑種			ホルスタイン種			和牛間交雑種			総計
	去勢	雌	計	去勢	雌	計	去勢	雌	計	去勢	雌	計	
岐阜	3,178	1,482	4,660	14	20	34	0	1	1	128	0	128	4,823
長崎	308	69	377	0	0	0	0	0	0	0	0	0	377
福井	5	1	6	49	0	49	0	0	0	0	0	0	55
三重	1	1	2	3	12	15	27	0	27	0	0	0	44
神奈川	18	11	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29
愛知	9	0	9	2	1	3	0	0	0	0	0	0	12
オーストラリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6	6
岩手	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
富山	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
滋賀	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
和歌山	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
総計	3,521	1,566	5,087	68	33	101	27	1	28	134	0	134	5,350

2. と畜検査結果に基づく措置

(1) 獣畜のと殺禁止又は廃棄したものの疾病別内訳

畜種	牛			とく			馬			豚			めん羊			山羊				
	措置	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄																
処分実頭数			13	3,428			3					108	30,953							
細菌病	炭疽			/			/						/							/
	豚丹毒	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	サルモネラ症			/			/			/			/			/			/	
	結核病																			
	ブルセラ病							/	/	/										
	破傷風			/			/			/										/
	放線菌症	/			/		/			/				/					/	
	その他																			
ウイルス病	豚コレラ	/	/	/	/	/	/	/	/	/		/	/	/	/	/	/	/	/	/
	その他																			
原虫病	トキソプラズマ病			/			/			/			/			/			/	
	その他																			
寄生虫病	のう虫病																			
	ジストマ病	/		13	/		/		/				/		/		/		/	
	その他											6,647								
その他の疾病	膿毒症			/			/			/		89	/		/		/		/	
	敗血症		2	/			/			/		12	/		/		/		/	
	尿毒症		6	/			/			/		1	/		/		/		/	
	黄疸		2	6									2							
	水腫		1	220									162							
	腫瘍			2									1							
	中毒諸症			/			/			/			/		/		/		/	
	炎症又は炎症産物による汚染	/		6,919	/		24	/		/		4	46,566	/		/		/		/
	変性又は萎縮	/		462	/			/		/		1	1,689	/		/		/		/
	その他		2	1,876			1					1	11,423							
計			13	9,498			25					108	66,490							

(2) 一部廃棄したものの病類別内訳

病類	畜種	牛	とく	馬	豚	めん羊	山羊
消化器系	肝 肝 蛭 症	13					
	肝 間 質 炎				4,157		
	肝 膿 瘍	250			11		
	肝 包 膜 炎	74			1,473		
	胆 管 炎	201					
	肝 炎	84	2		712		
	褪 色 肝	470	1		4,277		
	脂 肪 肝	7					
	肝 硬 変	1			6		
	肝 富 脈 斑	1					
	肝 出 血 斑	1,109					
	鬱 血 肝	1			1		
	鋸 屑 肝	358					
	肝 腫 瘍	1					
	胃 炎	810	3		748		
	創 傷 性 胃 炎						
	胃 潰 瘍				8,448		
	鼓 張 症	3					
	小 腸 炎	825	3		3,343		
	大 腸 炎	866	3		3,343		
	大 腸 粘 膜 変 色						
	腸 間 膜 脂 肪 壊 死	52					
	腸 間 膜 リンパ 乾 酪 変 性				60		
	腸 リンパ 壊 死						
	腸 間 膜 水 腫	1			17		
	腸 間 膜 膿 瘍				1		
直 腸 脱				30			
鎖 肛							
回 虫 寄 生				2,509			
腸 気 泡 症				5			
膝 臓 炎				1			
へ ル ニ ア	1			580			
腹 膜 炎	10			1,557			
直 腸 周 囲 脂 肪 壊 死	64						
呼吸循環器系	肺 炎	69	2		9,598		
	肺 膿 瘍	14			3,381		
	胸 膜 炎	28			4,666		
	血 液 吸 入 肺	4			3,820		
	異 物 吸 入 肺						
	肺 氣 腫	46			2,199		
	肺 水 腫	1					
	心 外 膜 炎	8			2,749		
	心 内 膜 炎	1			12		
	心 内 膜 出 血	2					
	心 筋 出 血	3					
	心 膿 瘍				2		
	心 筋 炎						
	横 隔 膜 水 腫	12					
	横 隔 膜 膿 瘍	40			23		
	横 隔 膜 筋 肉 出 血	2					
	横 隔 膜 炎	2					
	縦 隔 膜 水 腫	11					
	縦 隔 膜 膿 瘍	2					
	縦 隔 膜 筋 肉 出 血	5					
	縦 隔 膜 炎	2					
	脾 う っ 血	1			17		
	脾 膿 瘍						
	脾 捻 転						
	脾 腫 脹	2					
	脾 出 血 梗 塞						

病類	畜種		牛	とく	馬	豚	めん羊	山羊
泌尿生殖器系	腎	炎	13			112		
	腎	膿瘍	16			9		
	腎	嚢胞	2			1,235		
	腎	水腫	26					
	腎	脂肪壊死	219					
	腎	脂肪変性	1					
	腎	結石	25					
	膀胱	炎	25			8		
	膀胱	結石	36			7		
	膀胱	破裂	4					
	尿道	炎	11					
	尿道	結石	7					
	妊娠	子宮				34		
	死胎					2		
	卵巣	嚢腫				8		
	子宮	内膜炎				4		
	子宮	蓄膿症				9		
	子宮	脱						
	膣	脱						
	乳房	炎				17		
皮膚運動器系	皮膚	炎	19			5		
	角	損傷	3					
	四肢	骨折	9	1		155		
	その他	骨折	5			13		
	脱臼		5			93		
	関節	炎	47			914		
	四肢	膿瘍	13			613		
	その他	膿瘍	16			2,575		
	筋肉	水腫	163			135		
	筋肉	変性	95			217		
	筋肉	出血	29			174		
	褥瘡	創傷				2		
	打撲	傷	621	1		579		
	咬傷					748		
	挫傷		3			5		
	火傷					18		
	裂傷		2			2		
	脂肪	変性	21			113		
	脂肪	水腫	4					
	血腫					10		
その他	放線菌症							
	奇形	163				347		
	抗生物質陽性							

(3) 過去10年間の疾病別全部廃棄の推移(と畜場法・食品衛生法による)

疾病名	年度											合計
		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	
牛	敗血症	1			2		4	1	4	1	2	15
	尿毒症	22	4	3	10	9	7	13	10	7	6	91
	高度の黄疸	5	2	2	2	2		2	2	1	2	20
	高度の水腫		1	1		1		2		1	1	7
	白血病		1		1	3	2	2	4	5	2	20
	中毒諸症											0
	炎性産物等による汚染	1				1						2
	腫瘍									2		2
	抗菌性物質等残留											0
	合計	29	8	6	15	16	13	20	20	17	13	157
	豚	敗血症	22	19	12	19	32	23	25	34	7	12
膿毒症		35	36	29	71	81	58	91	91	112	89	693
豚丹毒		1			1	8	5	1				16
尿毒症		4	5	1	3	2	2	6	6	5	1	35
高度の黄疸		2	2	1	3				1			9
白血病				3							1	3
熱性諸症												0
抗菌性物質等残留												0
その他			1	1	1	2	1	4	6	6	5	27
合計		64	63	47	98	125	89	127	138	130	108	988

3. 精密検査実施状況

(1) 精密検査件数

畜種	項目 病類		検査頭数	精密検査内容				処分 全部廃棄頭数	
				細菌	病理	理化学			原虫その他
						血液検査	その他		
牛	敗血症	疣状心内膜炎	1	1				1	
		その他	1	1	1	1		1	
	尿毒症		52		52	13		6	
	黄疸		16		16	5		2	
	水腫		1		1	1		1	
	炎症								
	白血病		2		2			2	
	その他		107		107	35			
豚	敗血症	疣状心内膜炎	12	12				12	
		その他							
	尿毒症		3		3	1		1	
	黄疸		5		5	1			
	膿毒症		5		5	4		89	
	白血病		1		1			1	
	豚丹毒		2	2					
	変性または萎縮		1		1	1		1	
炎症		1		1			4		
中毒									
	その他		38		38	32			
総計			248	16	3	233	94	0	121

(2) 残留抗菌性物質検査件数

I 病畜検査

畜種	検査頭数	検査検体数	陽性検体数	
			筋肉	腎臓
牛	52	104	0	0
豚	39	78	0	0
合計	91	182	0	0

II 繁殖豚検査

検査頭数	陽性頭数
485	0

(3) 抗菌性物質等の残留物質モニタリング調査件数

検査項目名	畜種	検査検体数	検査結果
抗菌性物質	牛	186	全て基準値以下
	豚	192	
内部寄生虫用剤	牛	24	
	豚	24	

(4) 牛海綿状脳症 (BSE) スクリーニング検査頭数

月 齢	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
21ヶ月齢 未満	2	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
21ヶ月齢 以上	390	464	353	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,207

30ヶ月齢 未満	312	368	267	0	0	0	0	0	0	0	0	0	947
30ヶ月齢 以上	80	98	92	0	0	0	0	0	0	0	0	0	270

48ヶ月齢 未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
48ヶ月齢 以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

計	392	466	359	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,217
---	-----	-----	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-------

最高月齢	33	35	34										
------	----	----	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(5) 枝肉の微生物汚染調査件数

畜種	検査頭数	検査検体数	検査項目					
			一般生菌数	大腸菌群数	0-157	サルモネラ属菌	黄色ブドウ球菌	カンピロバクター属菌
牛	210	420	420	420	420	420	420	420
豚	220	440	440	440	440	440	440	440
計	430	860	860	860	860	860	860	860

(6) グリア繊維性酸性タンパク (GFAP) 残留量調査件数

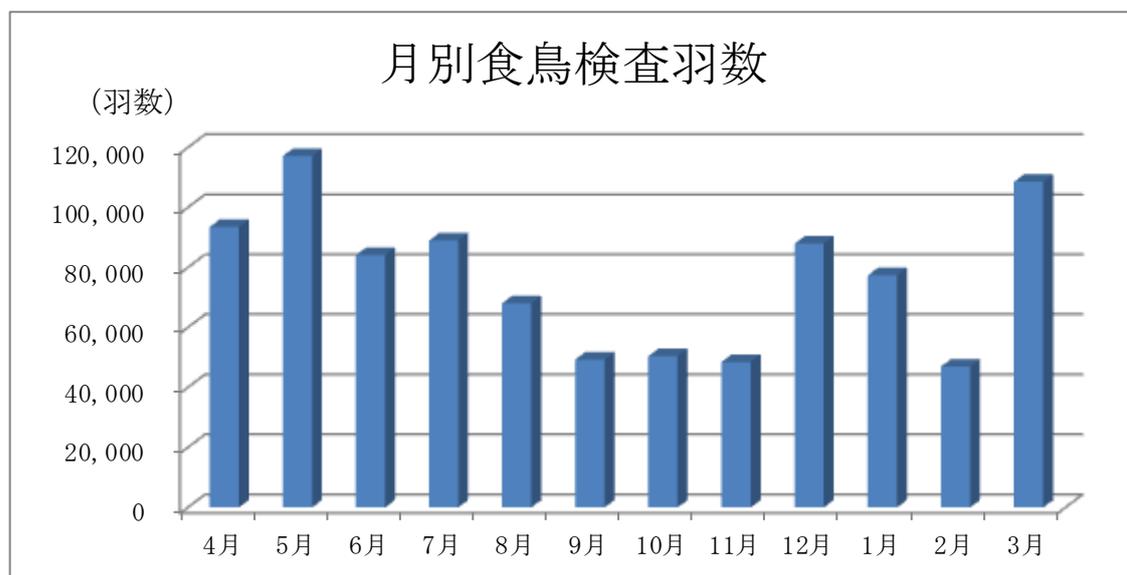
検査対象	検査頭数	検査検体数
牛枝肉	40	80

第3章 食鳥検査業務

1 検査羽数

(1) 月別食鳥検査羽数

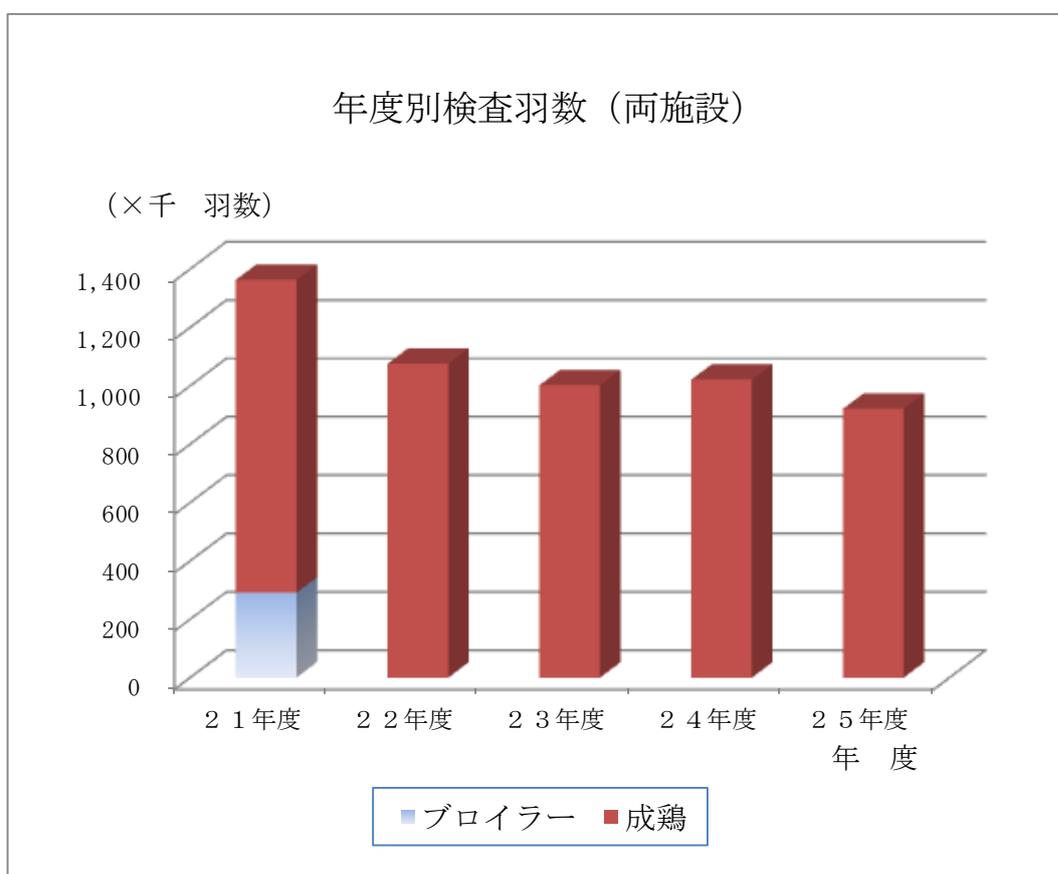
月	ブロイラー	成鶏	あひる	計
4月	0	93,514	0	93,514
5月	0	117,161	0	117,161
6月	0	84,160	0	84,160
7月	0	88,993	0	88,993
8月	0	68,115	0	68,115
9月	0	49,347	0	49,347
10月	0	50,429	0	50,429
11月	0	48,556	0	48,556
12月	0	87,962	0	87,962
1月	0	77,402	0	77,402
2月	0	46,981	0	46,981
3月	0	108,557	0	108,557
	0	921,177	0	921,177



(2) 年度別検査羽数推移

年度	ブロイラー	成鶏	あひる	検査羽数
21年度	290,701	1,071,654	0	1,362,355
22年度	0	1,075,405	0	1,075,405
23年度	0	1,001,585	0	1,001,585
24年度	0	1,021,146	0	1,021,146
25年度	0	921,177	0	921,177

*ブロイラー処理施設が平成21年10月1日より休業、平成22年8月6日より廃止



2 精密検査実施状況

(1) 精密検査件数

検査項目	と体（肉類）	器具類
一般生菌数	122	58
大腸菌群数	122	58
黄色ブドウ球菌数	122	58
カンピロバクター属菌	122	58
サルモネラ属菌	122	58

(2) 残留抗菌性物質検査件数

検体	検査検体数	陽性検体数
腎臓等	28	0

(3) 抗菌性物質等の残留物質モニタリング検査件数

検査項目	検査検体数	検査結果
抗菌性物質	8※	全て基準値以下
内部寄生虫用剤	3	

※延べ検体数は28

内訳

検体	延べ検体数	検査項目	備考
鶏の筋肉	3	フルベンダゾール	内部寄生虫用剤
	4	スルファジミジン	合成抗菌剤
	4	ナイカルバジン	合成抗菌剤
	4	スルファジメトキシシン	合成抗菌剤
	4	スルファメラジン	合成抗菌剤
	4	スルファキノキサリン	合成抗菌剤
	4	クロピドール	合成抗菌剤
	2	テトラサイクリン系	抗生物質
	2	ベンジルペニシリン	抗生物質
合計	31		

3. 検査廃棄処分したものの内訳

(1) 食鳥検査羽数及び食鳥のとさつ、内臓の摘出禁止または廃棄したものの原因

B 処理場		平成25年度									
検査羽数		ブローラー			成 鶏			あひる／七面鳥			
		0			921,177			0			
		禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	
処分実羽数					27,934	285	5,747				
疾病別 の 羽 数	ウ イ ル ズ ア 病	鶏痘				0	0	0			
		伝染性気管支炎				0	0	0			
		伝染性喉頭気管炎				0	0				
		ニューカッスル病				0	0				
		鶏白血病				0	0				
		封入体肝炎				0	0				
		マレック病				0	0				
	その他				0	0					
	細 菌 病	大腸菌症				0	0				
		伝染性コリーザ				0	0	0			
		サルモネラ症				0	0				
		ブドウ球菌症				0	0				
		その他				0	0				
	そ の 他	毒血症				0	0				
		膿毒症				0	0				
		敗血症				0	0				
		真菌症				0	0				
		原虫病				0	0	0			
		寄生虫病				0	0	0			
		変性				0	0	0			
尿酸塩沈着症					0	0	0				
水腫					0	0	0				
腹水症					12,140	165					
病 の 羽 数	出血				0	0	3,717				
	炎症				1,027	3	464				
	萎縮				0	0					
	腫瘍				93	64	0				
	臓器の異常な形等				0	0	0				
	異常体温				0	0					
	黄疸				2,716	0					
	外傷				153	0	1,566				
	中毒諸症				0	0					
	削瘦及び発育不良				11,149	53					
	放血不良				637	0					
	湯漬過度				11	0					
	その他				8	0	0				
計		0	0	0	27,934	285	5,747	0	0	0	

(2) 月別疾病羽数・処分羽数

月	平成25年度										B施設 (成鶏のみ)			合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
処理羽数	93,514	117,161	84,160	88,993	68,115	49,347	50,429	48,556	87,962	77,402	46,981	108,557	921,177	
死鳥	192	717	332	334	165	53	78	49	170	235	158	609	3,092	
禁止	2,908	3,916	3,304	2,509	2,582	1,502	1,111	1,242	2,737	1,777	1,287	3,059	27,934	
全部廃棄	0	0	0	0	0	0	0	0	285	0	0	0	285	
一部廃棄	484	832	463	375	411	270	458	285	451	534	419	765	5,747	
禁止の内訳														
著しい消瘦	887	1,257	1,278	1,014	1,334	669	456	472	1,024	766	770	1,222	11,149	
腹水症	1,578	1,548	992	1,015	1,113	699	543	666	1,313	714	391	1,568	12,140	
腹膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
炎症	81	140	102	53	35	37	29	34	204	127	56	129	1,027	
外傷	11	32	22	8	12	6	8	3	12	15	5	19	153	
皮膚病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
放血不良	84	74	78	129	41	63	52	16	16	15	31	38	637	
黄疸	265	865	831	287	45	27	23	46	149	118	17	43	2,716	
腫瘍	0	0	0	1	2	0	0	1	16	22	16	35	93	
その他	2	0	1	2	0	1	0	4	3	0	1	5	19	
全部廃棄の内訳												27,934		
著しい消瘦	0	0	0	0	0	0	0	0	53	0	0	0	53	
腹水症	0	0	0	0	0	0	0	0	165	0	0	0	165	
腹膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大腸菌症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
サルモネラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブドウ球菌症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
黄疸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
皮膚病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
マレック病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
外傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
放血不良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
炎症	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	
白血病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
DFD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
敗血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	64	0	0	0	64	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一部廃棄の内訳														
変性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大腸菌症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
敗血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
腹水症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
出血	285	542	324	260	264	160	307	182	281	365	281	466	3,717	
炎症	37	45	37	35	37	43	57	15	46	41	17	54	464	
腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
黄疸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
外傷	162	245	102	80	110	67	94	88	124	128	121	245	1,566	
著しい消瘦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
放血不良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

第4章 その他の事業

1 衛生講習会の実施状況

1) 食肉中への異物混入防止対策

養豚農家(6/9)、大動物診療獣医師(11/1)及び牛肥育農家(11/19)に対し、食肉中への異物混入(注射針等)防止啓発のための講習会「安心・安全な食肉供給のために」を開催

2) 衛生管理と食の安全への意識向上啓発

- ・ 場内衛生担当者会議(参加団体9団体) 4回
- ・ 「食肉衛生検査所通信」の発行 4回

2 危機管理演習の実施状況

1) 牛炭疽発生時の対応演習

平成26年2月4日に、岐阜市食肉地方卸売市場関連事業者等を対象とし、法定伝染病である炭疽が牛の解体ラインで発見された場合を想定し、牛や人の炭疽の病状及び初動対策について講習会を行い、実際に消毒演習を実施

第5章 調査研究

年	月	発表演題	発表場所
13	2	豚の大腸における水腫様病変の病理学的検討	平成12年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
13	2	牛の内臓の細菌汚染状況について	平成12年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
13	2	牛内臓から検出された病原細菌に関する検討	平成12年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
13	10	牛内臓搬送ラインの改良による肝臓細菌汚染防止効果について	第12回全食協東海北陸ブロック研修会
14	2	ブロイラー肝臓の細菌汚染対策について	平成13年度厚生労働省食鳥衛生検査技術研修会
14	11	豚の飼養管理とサルモネラ属菌保有状況との関係	第13回全食協東海北陸ブロック研修会
15	2	ELISAを用いた抗生物質検査法について	平成14年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
15	2	食鳥由来 Salmonella Infantis のRAPDを用いた解析	平成14年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
15	2	食鳥処理場における微生物汚染調査と衛生指導について	平成14年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
15	2	豚丹毒抗体調査とPCRを用いた迅速診断	平成14年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
15	10	豚枝肉の微生物汚染状況について	第14回全食協東海北陸ブロック研修会
16	2	豚枝肉の微生物汚染原因についての一考察	平成15年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
16	2	食鳥処理場における食鳥と体および食鳥肉の微生物汚染状況	平成15年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
16	11	Haccperp水を用いた微生物汚染軽減の検討	第15回全食協東海北陸ブロック研修会
16	2	食鳥処理場における衛生指導	平成16年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
17	9	BSEスクリーニング検査陽性時の場内衛生対策演習について	第16回全食協東海北陸ブロック研修会
18	1	牛と畜時における、と体不動化装置を用いたピッシング廃止の取組について	平成17年度食肉衛生技術研修会
19	1	と畜場における、カンピロバクター属菌の汚染実態調査	平成18年度食肉衛生技術研修会
19	11	フルベンダゾール試験法アルミナ酸性カラム精製時におけるsoak法の検討	第18回全食協東海北陸ブロック研修会
20	2	ブロイラー肝臓の次亜塩素酸ナトリウムによる細菌汚染振盪効果について	平成19年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
20	10	QuEChERS法(クエッチャーズ法)を応用した豚肉中のスルファジミジンの迅速分析法の確立	第26回全国食肉衛生検査所協議会 理化学部会研修会
20	11	炭疽の発生を想定した演習の実施について	第19回全食協東海北陸ブロック研修会
20	11	豚枝肉の汚染状況の把握と衛生確保に向けての取り組み	第19回全食協東海北陸ブロック研修会
21	2	名古屋コーチンのサルモネラ、カンピロバクター保菌状況調査	平成20年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
21	10	岐阜市食肉地方卸売市場における豚丹毒の発生状況とその分離菌株について	第20回全食協東海北陸ブロック研修会
22	2	食鳥処理場へ搬入された鶏のサルモネラ、カンピロバクター保菌状況調査	平成21年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
22	10	弱酸性次亜塩素水を用いた枝肉微生物汚染制御(報告)と今後の応用に関する検討	第21回全食協東海北陸ブロック研修会
23	2	成鶏から分離されたカンピロバクターのニューキノロン系薬剤耐性	平成22年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
24	1	SOPの映像化による、残留動物用医薬品検査法の伝達	平成23年度食肉衛生技術研修会
24	10	口蹄疫の発生を想定した演習実施について	第22回全食協東海北陸ブロック研修会
26	1	管内食鳥処理場の衛生管理向上への取り組み	平成25年度食肉衛生技術研修会

管内食鳥処理場の衛生管理向上への取り組み

岐阜市保健所食肉衛生検査所 ○野村 浩司 亀山 英俊
磯野 元彦

はじめに

これまで岐阜市が所管する大規模食鳥処理場（以下、処理場）において生産される食鳥肉について、市職員である専任の食鳥検査員が継続的に最終製品の拭き取り検査を実施してきたが、微生物汚染が軽減されない状況にある。その要因としては、処理場の自主的な衛生管理を推進するための人材の不足、外国人労働者に頼らざるを得ない慢性的な人手不足等が考えられる。そこで今回、この問題解決に向けて処理場に対し、リスクコミュニケーションによる衛生指導及び中国人研修生を含めた従業員の衛生教育のための作業手順書の作成を試みたところ改善傾向が認められたのでその概要を報告する。

方 法

1 連絡会の活用

平成24年度より処理場部門責任者と当検査所職員が参加する連絡会を開催し、検査結果の通知、衛生対策の検討等リスクコミュニケーションの場として活用している。

2 衛生管理状況調査等

1) 従業員の意識調査

食鳥処理工程の衛生管理上重要なポイントを従業員が認識しているかを把握するため、全従業員(19名)に対し意識調査を実施した。

2) 丸と体の拭き取り検査

カット室を含む処理場全体の汚染状況を推定するため、丸と体の拭き取り検査を下記のとおり実施した。

- ① 冷却工程直後の丸と体（投入直後、1 時間後、2 時間後、4 時間後）
- ② 解体前に一時的に保管されるコンテナ槽(以下、一時保管槽)にある丸と体
- ③ 作業台でのモモ肉分離作業時（以下、解体作業）の丸と体（作業開始時、15 分後、30 分後）

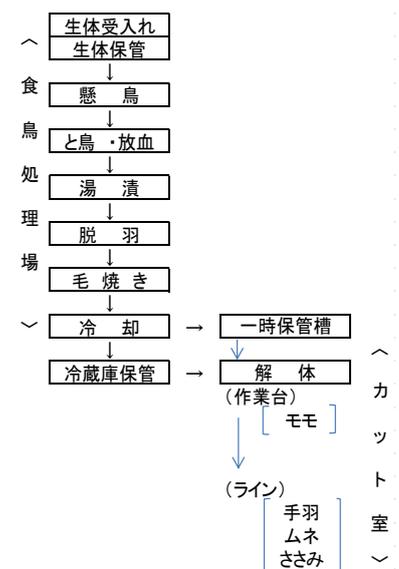
3) 解体作業時における調理器具及び従業員の手指の拭き取り検査

解体作業中の包丁、まな板及び作業員の手指

3 微生物検査

検査項目は一般生菌数、大腸菌群数、黄色ブドウ球菌、サルモネラ属菌、及びカンピロバクター属菌とした。拭き取り検査は、「食鳥処理場におけるHACCP方式による衛生管理指針」に準じた。

図1 食鳥処理工程



4 作業手順書

食鳥処理工程の問題点を洗い出し、衛生的な作業工程の統一化を図るため、改善作業を行うための作業手順書案を検査所が作成し、連絡会において検討した。

成績及び考察

1 連絡会の実施

処理場は廃鶏を年間約 100 万羽処理する大規模食鳥処理場であり、中国人研修生を含めて十数名程度の従業員で稼働している。現在、自主的な衛生管理体制が整備構築されている状況にはなく、これまでの最終製品の拭き取り検査結果においても微生物の汚染状況が改善される傾向にはなかった。

そこで検査所から処理場部門責任者と当検査所職員が参加する連絡会の開催を提案したところ、賛同が得られ、これまでに計 8 回開催した。連絡会では検査結果等を分かりやすい図表で示し、双方の意見が出やすいような雰囲気づくりを心掛けた。

2 衛生管理状況調査等の実施

1) 従業員の意識調査の実施

結果は図 2 のとおりであった。集計結果から、カット室における

解

体工程に関して 4 名が重要でないと認識していた。

2) 丸と体拭き取り検査

処理工程の各段階で丸と体の拭き取り検査を行うことにより、微生物による汚染過程を推測した。

冷却工程直後の丸と体は、基準を超える検体はなく、食中毒菌も検出されなかった。冷却水温度、残留塩素濃度も適正に管理されていた。

一時保管槽にある丸と体は、処理羽数が多く一時保管槽で長時間保管されるような場合に、基準を上回る検体やカンピロバクター属菌も検出された。

解体作業時の丸と体は、作業時間が進むに従って基準を超えるようになり、カンピロバクター属菌も検出された。

作業台の丸と体は、一時保管槽から従業員の手作業により移され山

積みされる。この中には糞便汚染された丸と体も含まれており、糞便汚染されていない丸と体と同時進行で解体作業が行われていた。この際、糞便汚染された丸と体はその都度洗浄作業は行うが、消毒作業は行われていなかった。

3) 解体作業時における調理器具及び従業員の手指の拭き取り検査

解体作業時の丸と体と同様の傾向を示した。解体作業は素手で行われ、解体作業中の包丁、まな板及び手指の洗浄は行うが、消毒作業は行われていなかった。

今回の調査で、丸と体の微生物汚染は、作業台における解体作業の他に、一時保管槽の適正管理、解体作業前までの丸と体の取り扱いにも起因するものと考えられた。

図 2

従業員意識調査（結果）

下の食鳥処理工程のうち、衛生的な食鳥肉を生産するために重要だと思う工程に ○を付けてください。
(ひとつだけでなく複数回答も可です)

食鳥処理場	
生体受入れ (生鳥かご管理を含む)	17
生体保管	10
懸鳥	3
と鳥・放血	16
湯漬け	10
脱羽	11
頭・脚除去	9
冷却	13
カット室	
解体	15
製品保管	11

・対象 : 処理場従業員
・人数 : 19人
・数字は○を付けた総数

3 作業手順書の作成及び指導後の作業の実施

処理場には解体加工における具体的な作業手順書がなく、従業員の作業にも統一性が見受けられない状況であった。今回、衛生管理向上の第一歩として「一時保管槽からの「丸と体」の取り扱い及び解体方法」として作業手順書の作成を試みた。作業手順書案を検査所が作成し、連絡会で協議した。作業手順書には衛生作業点を注意事項として盛り込んだ。また連絡会において処理業者側から特に主要な従業員である中国人研修生へ衛生意識を浸透させたいという要望があったため、作業手順書の中国語訳も作成した（表1）。

名称		从临时保管槽取出“脱毛鸡”的处理及解体方法		
作成日	平成 25年 月 日	更新日	作成者	
1	从临时保管槽中每次取出一只“脱毛鸡”			注意事项 · 保持临时保管槽水质清洁，必要时用冰冷却。
2	取出时确认鸡体表面有无粪便污染			
3	将未被粪便污染的“脱毛鸡”转移至作业台上			· 将“脱毛鸡”转移到作业台上时，不要重叠放置“脱毛鸡”。
4	开始解体作业			· 器具每30分钟清洗消毒一次，发现污垢时，立即清洗消毒。 · 手指每30分钟清洗消毒一次，手指清洗消毒时，先用洗涤剂洗掉污垢，再使用消毒剂或酒精消毒。 · 擦手请使用清洁的纸巾。
<被粪便污染的“脱毛鸡”的处理方法>				
1 将被粪便污染的“脱毛鸡”放入专门的筐内。				
2 进行完通常的解体作业后，再处理被粪便污染的鸡体。				
3 用刀切下被粪便污染的鸡身部位。				
4 每处理完一只鸡都要将刀放入消毒槽内消毒。				
5	每次从另外的保管槽取出“脱毛鸡”解体，或变更其他作业内容时，都要对作业台进行清洗消毒。			

表1 作業手順書（中国語訳）

食鳥検査員の監視のもと中国語訳作業手順書により作業を一つ一つ確認しながら行った。従業員は実施当初は作業に戸惑う部分も見受けられたが、徐々に理解しながら作業が行われ、検証のための拭き取り検査では、解体作業時間が経過しても基準を超えることはなく、改善傾向が確認できた（表2）。

今後も継続して工程ごとの作業手順書の作成を指導していく予定である。

表2 従来の作業手順と指導後の作業手順による丸と体拭き取り検査結果の比較

	従来作業手順			指導後の作業手順		
	一般生菌数	大腸菌群数	菌検出	一般生菌数	大腸菌群数	菌検出
作業開始時	1.9×10^2	2.7×10	1検体からカンピロバクター (+)	8.0×10	8.0×10^{-1}	(-)
15分後	7.0×10^3	1.7×10^2	2検体からカンピロバクター (+)	3.2×10^2	4.0×10^{-1}	2検体からカンピロバクター (+)
30分後	1.4×10^3	1.4×10	3検体からカンピロバクター (+)	4.5×10^2	2.7×10^{-1}	1検体からカンピロバクター (+)

一般生菌数・大腸菌群数の数値は幾何平均(N=3)、単位はcfu/cm²

まとめ

食鳥処理業者と食鳥検査員は安全な食鳥肉を供給するという責務を共有している。専任の食鳥検査員が所管の処理場に常駐し、リスクコミュニケーションを図ることは有意義であり、リスクに関する認識を共有することによってその施設に応じたきめ細かい衛生指導が可能となる。

今後も、お互いの信頼関係を構築しつつ、衛生意識の向上、自発的な改善を促していきたい。

第6章 付 表

1 岐阜市食肉地方卸売市場概要

(1) 概 要

ア 位 置	岐阜市境川5丁目148番地		
イ 敷 地 面 積	21,879.93 m ²		
ウ 建 物 面 積	7,814.73 m ²		
エ 能 力	と畜処理能力(1日)	大動物 75頭	小動物 600頭
	汚水処理能力(日量)	1,500m ³	
	冷蔵能力(小動物に換算)	1,050頭	
	汚泥脱水能力	4,000kg	
	収容能力	大動物 115頭	小動物 560頭
オ 建 築 年 月 日	昭和42年11月 岐阜市食肉センターとして竣工		
カ 建 築 物			

名 称	面 積	備 考
1. 本 館 棟	4,105.78 m ²	大動物と室 小動物と室 冷蔵庫 懸肉室兼せり場
2. 事 務 棟	381.60 m ²	大動物解体室 小動物解体室
3. 控 室 棟	132.46 m ²	内臓処理室 枝肉処理場
4. 作 業 員 控 室	64.80 m ²	大動物係留所 小動物収容所
5. 調 理 師 控 室	64.80 m ²	市管理事務所 関係事務所
6. 現 業 員 控 室	39.58 m ²	管理人住宅 買受人控室
7. 倉 庫	48.60 m ²	会議室
8. 病 畜 と 室	50.00 m ²	
9. 焼 却 炉 上 屋	98.99 m ²	
10. 洗 車 場	64.00 m ²	
11. 汚 水 浄 化 槽	1,942.40 m ²	
12. ブ ロ ア ー 室	49.17 m ²	
13. 汚 泥 処 理 場	173.00 m ²	
14. ポ ン プ 室	9.00 m ²	
15. 廃 棄 物 処 理 棟	59.42 m ²	
16. お が く ず 置 場	30.00 m ²	
17. 受 付 棟	4.53 m ²	
18. 冷 蔵 庫 棟	496.60 m ²	

キ 機 構

- 岐 阜 市 施設の維持管理及び業務の指導監督
食肉検査(岐阜市保健所食肉衛生検査所)
- 卸 売 業 者 株式会社 岐阜県畜産公社(荷受機関)
授權資本金 5,200万円 払込済資本金 4,950万円
県 700万円 市 700万円 全農 1,350万円 県信連 400万円
県食肉連 1,700万円 県家畜商組合 100万円
岐阜県卸売市場条例に基づき、市場を通じ食肉の委託販売を行う機関であり、食肉の販売代金を基準とする手数料を収受し業務を運営する者
- 買 受 人 市長の承認を受け、本市場でのせり売りに参加し食肉の買受けをする者
- 付 属 営 業 人 市長の承認を受け、本市場での市場業務に附帯した業務を行う者
- 日 本 食 肉 格 付 協 会 牛、豚の枝肉の規格格付けを行う者